

1. 実況上の着目点

- ① 強い台風第22号が日本のはるか東にあって東進。この台風からのうねりの影響で、北～東日本の太平洋側では、波の高い所がある。
- ② 台風第23号が沖縄の東にあって北西進。台風中心の北東側と南西側では対流雲が発達し発雷を検知。大東島地方では、うねりを伴いしけており、西日本の太平洋側～南西諸島では①のうねりの影響もあり、波の高い所がある。
- ③ カムチャツカの東の低気圧の影響で、北海道オホーツク海側ではうねりを伴い波が高くなっている。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の台風第22号は、10日夜までに温帯低気圧に変わる見込み。台風からのうねりの影響で、東～西日本の太平洋側では11日にかけて、うねりを伴い波の高い状態が続く。高波に注意。
- ② 1項②の台風第23号は、11日にかけて南西諸島の東の海上を北上し、12日には次第に進路を東よりに変えて、13日には伊豆諸島付近に進む。台風の影響で、伊豆諸島では猛烈な風が吹いて、大しけとなり、大雨となるおそれがある。暴風に厳重に警戒し、高波、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒し、南西諸島～東日本太平洋側では、強風や高波に注意。
- ③ 11日にかけて北日本付近を高気圧が南東へ移動。また、500hPa 5820m付近の正渦度移流に対応する前線が、11日夜には日本海～東北地方にのびる。東北地方～東日本では、高気圧の周りを回る湿った空気や前線の影響で、西日本では2項②の台風の東側の下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定になる所があり、雷を伴い激しい雨が降り大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷、突風に注意。
- ④ 1項③の低気圧からのうねりの影響で、北海道オホーツク海側ではうねりを伴う波の高い状態が続く。また、12日は千島の東に進む低気圧の影響で、北海道地方では、大気の状態が不安定となり、強い風が吹き、波が高くなる所がある。落雷、突風、降ひょう、急な強い雨、強風、高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本とするが、台風の予想は最新の台風予報による。MSMは台風を発達させすぎており採用しない。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(18時からの24時間): 沖縄130、九州南部120 mm。② 波浪(明日まで): 奄美5、九州南部・沖縄4、北海道・東北・伊豆諸島・小笠原・近畿・四国3m。③ 高潮(明日まで): 大潮の時期。全国的に、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「台風第23号に関する情報(総合情報)」を17時頃に発表予定。